

- 1967(昭和42)年 **日経広告研究所創立**
初代理事長に河口静雄・三共化成工業社長(元三共副社長)が就任
「わが国広告費の時系列分析」研究始まる
公共PR研究会始まる
『日経広告研究所報』創刊
- 1968(昭和43)年 消費者行動研究会始まる
「広研広告講座」(現:「広告の理論と実際の総合講座」)始まる
生産財マーケティング研究会始まる
『広研広告講座』(のち『広告に携わる人の総合講座』、現:『基礎から学べる広告の総合講座』)創刊
『広告関係論文レファレンス』創刊
『東京証券取引所上場会社広告宣伝費』(現:『有力企業の広告宣伝費』)創刊
- 1971(昭和46)年 集中研究「各国百科事典にみる『広告』観」始まる
- 1972(昭和47)年 流通広告研究会始まる
- 1973(昭和48)年 行政広報研究会(政治広告研究プロジェクト)始まる
テーマ研究「教科書の中の『広告』」始まる
セミナー「企業の社会的責任と広告のあり方」実施
- 1974(昭和49)年 **日本新聞協会賞受賞**
講座「現代のマーケティングの潮流を求めて」「欧米の新市場と新しいビジネス・チャンス」などを実施
- 1975(昭和50)年 通商産業省(現経済産業省)より「国際広告比較研究」受託
- 1976(昭和51)年 創立10周年記念シンポジウム「広告に新しい視野を拓く」実施
- 1977(昭和52)年 海外広告事情調査団派遣開始
広告動態調査始まる
産業連関分析による広告費予測開始
『広告白書』創刊
- 1979(昭和54)年 日韓合同セミナー「日本経済の現状とマスコミの当面している諸問題」実施
- 1980(昭和55)年 日本マーケティング・サイエンス学会共同研究発表会「革新型消費者をどうとらえるか」実施
- 1981(昭和56)年 産業広告研究会始まる
- 1983(昭和58)年 「広告効果」研究始まる
- 1984(昭和59)年 受託調査「企業の好き嫌いイメージ調査」(現:「企業の“好き嫌い”定期診断」)始まる
- 1986(昭和61)年 第2代理事長に森田康・日本経済新聞社社長が就任
- 1987(昭和62)年 受託調査「大学イメージ調査」始まる
広告図書懇話会(現:書評委員会)始まる
広告研究論文審査会(現:研究論文審査委員会)始まる
創立20周年記念・日米欧企業広告シンポジウム「企業戦略と企業コミュニケーション」実施
『広研レポート』創刊
- 1989(平成元年) 第3代理事長に鶴田卓彦・日本経済新聞社副社長(1993年に社長)が就任
白川忍賞受賞
大学広告関連講座調査、企業広告に関する総合調査始まる
講座「新しい広告効果測定」実施
『企業イメージ調査』調査報告書の発行を日経産業消費研究所(現:日経産業地域研究所)に移管
- 1990(平成2)年 **『広告の社会学』(日本広告学会賞受賞)『新しい広告効果測定』(日本広告学会賞受賞)**
- 1992(平成4)年 広告マネジメント研究会、オピニオンリーダー研究会始まる
『広告表現の科学』(日本広告学会賞受賞)
- 1993(平成5)年 新企業イメージ研究会始まる
シンポジウム「広告の経済性をいかに高めていくか」実施
- 1994(平成6)年 広告費予測研究会、証言で綴る広告史研究始まる
海外マスメディア広告における日本語研究会始まる
セミナー「マルチメディアと広告」実施

- 1995(平成7)年 広告効果研究会、ブランド評価研究会、一次産品マーケティング研究会、MRS データ研究が始まる
シンポジウム「これからのブランド戦略」
「広告担当者は PL 法にどう対応するか」実施
『[広告の世界史](#)』(日本広告学会賞受賞)
- 1996(平成8)年 外務省より「海外広報の研究調査」受託
広告用語編集委員会スタート
AE 制研究会始まる
創立 30 周年記念特別セミナー「活力ある新聞広告づくり」実施
テキスト『[広告の基礎](#)』I、II 巻、『[広報の基礎](#)』I、II 巻発刊
- 1997(平成9)年 受託調査「[イベント活動への協賛効果測定調査](#)」始まる
ビジネスマーケティング研究会、広告デザイン研究会、広告研究の系譜研究会始まる
デジタル広告の実態調査始まる
創立 30 周年記念シンポジウム「[広告費予測モデルを検証する](#)」
「[ブランドマネジメントと広告](#)」実施
創立 30 周年『[広告研究論文一覧\(1967~1996\)](#)』、『[年表に見る日経広告研究所 30 年](#)』、特装版『[広告用語辞典](#)』発刊
- 1998(平成10)年 フォーラム「[ブランド構築のための広告戦略](#)」
『[国際イメージと広告](#)』(日本広告学会賞受賞)
『[広告費四半期予測](#)』創刊
- 1999(平成11)年 広告費データ分析研究会、消費者購買行動研究会始まる
コーポレートブランディングセミナー「[戦略的ブランド構築と IR 活動](#)」実施
『[広告ビジネスの構造と展開](#)』(日本広告学会賞受賞)
- 2000(平成12)年 [Web サイト開設](#)
ブランド連想分析研究会始まる
講演会「[消費者行動、広告の現在とこれから](#)」
「[コンシューマーインサイトを考える](#)」実施
- 2001(平成13)年 広告の文化論的研究会、アカウントプランニング研究会始まる
日経広告賞 50 周年記念シンポジウム「[二十一世紀の新聞広告](#)」実施
- 2002(平成14)年 [コーポレートコミュニケーション研究会、デジタル広告研究会](#)始まる
創立 35 周年記念シンポジウム「[ブランド連想と広告戦略](#)」実施
- 2003(平成15)年 第 4 代理事長に杉田亮毅・日本経済新聞社社長が就任
企業価値創造研究会、新しい広告効果研究会始まる
『[デジタル時代の広告法規](#)』(日本広告学会賞受賞)
『[広告会社への報酬制度](#)』発刊
- 2004(平成16)年 エリアマーケティング研究会始まる
フォーラム「[広告\(業\)の明日を問う](#)」、セミナー「[企業・自団体・NPO をむすぶマーケティングコミュニケーション](#)」実施
- 2005(平成17)年 ネット広告研究会始まる
ブランドシンポジウム「[ブランド戦略の実体とその考え方](#)」実施
『[新広告論](#)』『[ブランド評価と価値創造](#)』発刊
- 2006(平成18)年 第 5 代理事長に服部禮次郎セイコー(現:セイコーホールディングス)名誉会長が就任
デジタル放送広告研究会、クロスメディア研究会始まる
国際広告ワークショップ始まる
『[新富裕層の消費分析—藤巻流](#)』発刊、『[広告白書](#)』大幅改訂(A4 判、横組化)
『[公共広告の研究](#)』(日本広告学会賞受賞)
『[広告の文化論](#)』発刊
- 2007(平成19)年 ARF(Advertising Research Foundation: [米国広告調査財団](#))との協力関係開始
KOBACO(Korea Broadcast Advertising Corporation: [韓国放送広告公社](#))との協力関係開始
WARC(World Advertising Research Center: [国際広告調査センター](#))との協力関係開始
『[広研レポート](#)』大幅改訂(A4 判、横組化)
創立 40 周年記念「[クロスメディアシンポジウム](#)」
「[“Engagement”を考える](#)」実施
『[コーポレートブランディング格闘記](#)』『[世界と日本 環境広告最前線](#)』『[ある女性広告人の告白](#)』

- 『新「地域」ブランド戦略』発刊
Web サイト大幅改訂—会員専用ページに『広告関係論文レファレンス』をデータベース化した「広告関連論文・記事、図書レファレンス」と、Web 化した「広告費四半期予測」を収容
『広告関係論文レファレンス』をオンデマンド出版により発刊
- 2008(平成 20)年 広告ケーススタディー研究会始まる
「広告費予測」追加実施
「コーポレートコミュニケーションセミナー」「The Birth of Blue—持続可能な未来を描く」(いずれも共催: 日本経済新聞社広告局)実施
「クロスメディアシンポジウム 2008」実施
「名古屋地区クロスメディアセミナー」(共催: 日本経済新聞名古屋支社、テレビ愛知)実施
『企業イメージ調査』調査報告書の発行が 19 年ぶりに復帰
『経済マイスターによる知力講座』発刊
- 2009(平成 21)年 広告ケーススタディーデータベース稼動
『広研レポート』改訂(モノクロ化)
「有力企業の広告宣伝費調査」に連結決算データを追加
「いま見つめ直す『広告のチカラ』シンポジウム」実施
『新マーケティング・コミュニケーション戦略論』発刊
- 2010(平成 22)年 **KOBACO との協力関係を解消**
『広研レポート』オンラインマガジン化(メールマガジン & 記事サイト)
- 2011(平成 23)年 会則を変更して理事の中から副理事長 2 名以内を選出することとし、高嶋達佳理事、小林保彦理事が副理事長に就任。